

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

共催

ふかにこ ファクトリー

0歳からOK!



2月18日(土) ①11:00~12:00 ②13:00~14:00

リトミック要素を取り入れたミニコンサートと
親子で一緒に楽しめる簡単な作品を作ります

歌&読み手 YUKKIY(ユッキー)
イラスト Reap(リープ) ほか

大人 700 円 子ども 300 円 大人子ども合わせて各回18人 ※1月25日(水) 10時から受付開始

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

2月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 休館日	7	8	9 キッチン 松ぼっくり 営業日	10	11	12
13 休館日	14 天使	15	16	17	18 ふかにこ ファクトリー	19
20 休館日	21	22	23 山	24 おきがる講座	25 おきがる講座	26 圓橘の会
27 休館日	28 嚟+話					

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は 19:00 まで)

2月の催し

共催

圓橘の会

2月26日(日) 15:00～ (開場14:30)

三遊亭圓橘・萬丸

二番煎じ “いい酒は守り神ですよ。うまくあつかえばね”
シェイクスピア『オセロ』より

お若伊之助 “ほどよく愛するのだ。それが永き愛の道”
シェイクスピア『ロミオとジュリエット』より

予約 2,500円 当日 2,800円 定員 50名 ※2月15日(水) 10時から受付開始



共催

噺 + 話

2月28日(火) 14:00～ (開場13:30)



おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ

三遊亭歌扇「蒟蒻問答」

+ 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円 定員 20名 ※2月15日(水) 10時から受付開始

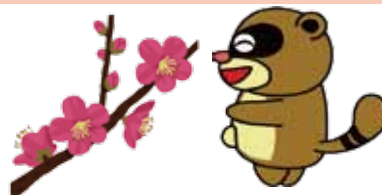


主催

おきがる講座

2月24日(金)・25日(土) 13:00～14:30
渋沢栄一ゆかりの事業8「社会事業」

2月24日(金)・25日(土) 15:00～16:30
渋沢栄一ゆかりの人々13「安田 善次郎」



受講料 500円 定員 各回20名(要予約)
講師 龍澤潤(深川東京モダン館)

※2月7日(火) 10時から電話で受付予約

懐かしい給食の味!

キッチン松ぼっくり

2月9日(木) 11:45～14:00

古代米(黒米)大豆ご飯 750円

魚の南蛮漬け

じゃが芋の金平炒め 茹で野菜

揚げパンは1個50円

※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません
※メニューを一部変更する場合があります

写真はイメージです



※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

●お客様へのお願い

- 次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
- マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

扇橋閘門と小名木川駅



徳川家康が江戸入府後、開削した「小名木川」は全長 4.6km の東西にわたる直線の河川であり、現在その中央部に扇橋閘門がある。

隅田川と荒川に囲まれた低地盤地帯は「江東三角地帯」といい、明治末期からの地盤沈下（最大 4m）により「ゼロメートル地帯」と呼ばれた。小名木川を始めとする江東三角地帯を流れる江東内部河川の護岸は、地盤沈下により、相次ぐ嵩上げにより「カミソリ堤防」といわれ、常に決壊の危機に晒さらされた。そこで昭和 43 年～平成 5 年江東内部河川整備事業により、江東三角地帯の中で最も地盤の低い、扇橋閘門より東側の小名木川流域を人為的に低水位化（A.P.*1.0m）に制御した。一方、扇橋閘門の西側流域は隅田川、東京湾の潮汐を受けているため（満潮時 A.P.+2m）、扇橋閘門を挟む東西の水位差が最大 3m となった。ここを船舶通行するための「川のエレベーター」施設として扇橋閘門は昭和 52 年に建設された。

※A.P. Arakawa Peil の略で、荒川の最干潮時の水位を 0 m として決めた高さの基準

1. 東京製粉の製粉工場

「天下のアメケイ」こと雨宮敬次郎が、小名木川・扇橋に本邦初の機械製粉生産（現・日本製粉）を開始して以来、明治 30 年代に多くの製粉近代工場が小名木川沿岸に生まれた。昭和 29 年設立の「東京製粉」もその一つであり、扇橋 2 丁目の工場では、小名木川の水運が活用された。

東京湾に停泊している本船（大型船）から「だるま船」と呼ばれるはしけ4 隻に積み替えて輸入小麦を運搬し、扇橋閘門を通過して陸揚げのうえ製粉していた。

1 隻小麦 400 トン積載したはしけから、象の鼻のようなアンローダーで工場サイロに吸引する作業は、水運風物のひとつであった。

当社は「扇橋閘門」を産業利用する区内の工場の中で唯一、最後まで残っていたが平成 27 年の廃業により、その姿を消した。

2. 「小名木川駅」と「汽車製造会社」

「小名木川駅」は、鉄道貨車による陸路と小名木川に繋がる入舟場を持つ「水陸連絡貨物専用駅」として昭和 4 年に建設された。

ドック（4400 坪）出入口跡に、「昭和の俳聖」と呼ばれた石田波郷の「江東歳時記文学碑」がある。「小名木川駅春の上潮（あげしお）曇るなり」の碑では、小名木川に繋がる入船場に潮汐があったこと。また、波郷の「雪敷ける町より高し小名木川」では、当時の小名木川水位は、町より高かった状況が窺える。平成 12 年小名木川駅廃止後の跡地（3 万坪）は、複合商業施設「アリオ北砂」になった。

昭和 6 年～昭和 45 年、南砂 2 丁目に「汽車製造」工場（5 万坪）があった。製造車両の搬出は、小名木川駅に繋がる引き込み線で行われた。当社は、東海道新幹線も製造した客車・貨車大手メーカーであり、明治期に平岡熙が創業し、元鉄道庁長官の井上勝により発展を遂げた会社であった。

また、当駅と繋がっていた JR 越中島貨物線（越中島貨物駅～新小岩信号場駅）と小名木川跨線鉄橋は、「鉄道レールを運ぶ専用列車」線として現在も見ることができる。



（文と写真 江東区文化観光ガイド 新居正夫）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
(水彩・切絵・写真)
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・はちみつ
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ 等

七福神の名前にちなんだ
7種類のコーヒーアソート

七福豆
1,480円(税込)

(有)ピコフードサービス



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」「モダン館ブレンド」(しつかり・すっきり)の3種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



Adonis ramosa

「深川東京モダン館だより」第117号(2023年1月20日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

